

千葉の園芸

発行所 千葉市中央区市場町 1-1
公益社団法人千葉県園芸協会
連絡先 043 (223) 3005
発行日 毎月 1 日
令和 8 年 8 月号

令和 7 年度における農地中間管理事業の実績について

公益社団法人千葉県園芸協会
農地部 副主査 齋藤 竜也

令和 7 年度における農地中間管理事業の実績は、関係機関の御協力により、利用権設定促進事業からの切り替えが進み、過去最高となりました。今後とも、生産者の皆様の経営発展のため、更なる事業推進に努めてまいります。

1. 令和 7 年度の状況について

担い手への農地利用の集積・集約化を進めるための事業として、12 年目を迎えた令和 7 年度農地中間管理事業は、全県で 2,496 ha を借り受け、2,795 ha の貸し付けが行われました。前年度と比較すると、借り受け（令和 6 年度 1,805 ha）及び貸し付け（令和 6 年度 2,003 ha）ともに約 4 割増となり、過去最高の実績となりました。また、各地域の実績については別表 2 のとおり、借受面積及び貸付面積のどちらも 9 地域で前年度実績を上回りました。

実績が増加した要因としては、市町村で実施していた利用権設定等促進事業（相対貸借）が令和 6 年度をもって終了となり、農地中間管理事業へ切り替えが進んだためと考えられます。

なお、累計では借受面積が 12,459ha、貸付面積が 11,962ha となり、どちらも千葉県の耕地面積（令和 7 年度：119,300ha）の約 10% となっております。また、農地がある 53 市町村の全てで農地中間管理事業の利活用が進みました（令和 6 年度は 51 市町村）。

地域別貸借面積（別表 2）

地域	借受		貸付	
	R6	R7	R6	R7
千葉	185	206	189	210
東葛飾	95	140	105	156
印旛	334	422	387	457
香取	533	760	586	930
海匝	33	93	38	95
山武	151	103	156	106
長生	248	411	259	422
夷隅	39	57	52	60
安房	80	181	86	186
君津	108	123	146	173
計	1,805	2,496	2,003	2,795

2. 担い手への農地貸付の状況について

農地の貸付先としては、認定農業者が 66%（1,842 ha）、市町村の基本構想到達者が 16%（463 ha）、認定新規就農者が 2%（46 ha）、その他が 16%（444 ha）と 8 割以上が担い手となり、その内、新たに担い手に集積された面積は 1,213 ha となりました。また、経営区分としては個人が 64%（1,775ha）、法人が 36%（1,020ha）となりました。農地中間管理事業を利用して新規に就農（参入）した経営体は 67 件で、貸付面積は合計で 39 ha でした。

なお、県全体での担い手への集積率は前年度から 1.2 ポイント増加し、32.9%（事業開始当初の平成 26 年度は 19.9%）となりました。

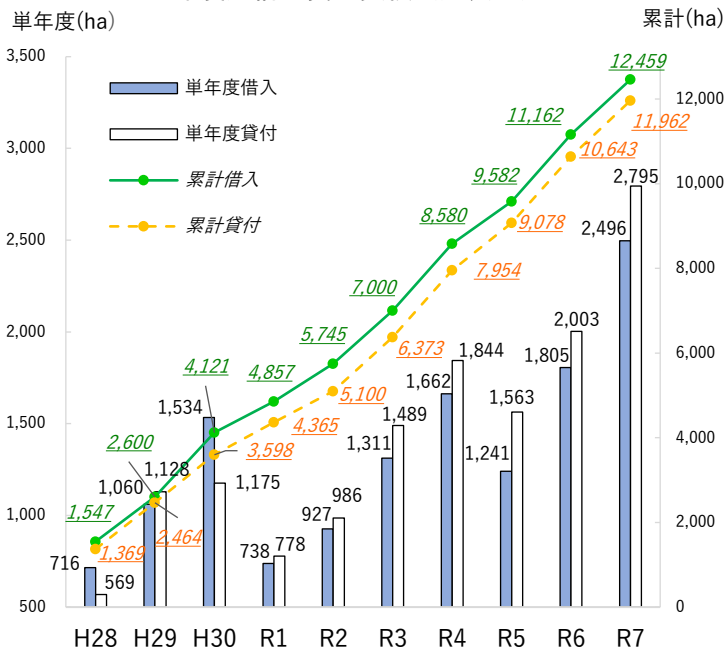
3. 契約内容の変更について

賃料等の契約内容について、変更する場合は手続きが必要となります。また、契約者が亡くなられた、相続をされた場合も同様となります。手続きに当たっては、農地の所在する市町村の農政担当課窓口にて御相談をお願いします。なお、本年度の賃料に係る変更については 8 月中旬までの手続きが必要となりますので、よろしくお願いします。

4. おわりに

本年度も引き続き市町村等関係機関と連携し、皆様が農地中間管理事業を円滑に利用できるような事業推進に努めてまいります。また、県内 10 農業事務所に機構職員を駐在させておりますので、御気軽に御相談ください。

年度別借入貸付実績（別表 1）



流通情報



花き産地の販売促進の取組

千葉県農林水産部生産振興課

首都圏マーケティングセンター 技師 福田 匠

J A安房では、㈱大田花きと連携し、生花店社員を対象に「産地見学会」を開催し、J A安房のヒマワリを使用した「ヒマワリフェア」に繋げています。見学会で学んだ花の魅力、ストーリー等を生花店社員がお客様に繋いでいます。

1. 8年ぶりに産地体験会を開催

5月26日に、都内・大阪に20店舗ある生花店チェーン「レミルフォイユ ドゥ リベルテ（以下「リベルテ」という。）」の社員12名を対象に、ヒマワリ・リシアンサス（トルコキキョウ）の産地見学会がJ A安房、全農千葉県本部の主催で開催されました。過去には、㈱大田花きの主催で4回程度開催されており、今回は8年ぶりの開催とのことでした。

初めはJ A安房神戸支店の花き集荷場の予冷库を見学し、その後、西岬地区のヒマワリ・神戸地区のリシアンサスの生産者施設を見学しました。生産者からは、「このくらいで切って出荷しているけど、店舗で花の開きはどうか」等切り前（切り花を収穫する前の段階）の質問があったり、ブライダル担当のリベルテの社員からは、「産地としてヒマワリの芯白は少ないということであったが、芯黒ばかりだとブーケにした際にきつい印象があるため、芯白もほしい」といった意見がありました。また今回参加したリベルテの社員には、仕入れ担当の方もいたため、生産者からの「リシアンサスの一重は売れるか」という質問に対し、「ブーケを作る際に、安価でボリュームを出せるので、一定ニーズはあると思う。自分は結構仕入れている。」という回答があるなど、意見交換は大変盛り上がりしていました。



生産者とヒマワリの切り前について意見交換

2. 都内店舗での「ヒマワリフェア」を巡回

6月はリベルテ各店舗で、J A安房のヒマワリを使用した「ヒマワリフェア」が催され、6月19日には、J A安房、全農千葉県本部、安房農業事務所、㈱タキイ種苗等の関係者で、都内4店舗を巡回しました。どの店舗においても、ヒマワリを主体に売場がレイアウトされており、ヒマワリと合わせたアレンジで用いられるJ A安房の花あわ（栗の切り花）も人気とのことでした。

5月の産地見学会に参加した社員からは「産地見学会に参加してこれまでよりさらに花を好きになり、西岬地区のヒマワリ、神戸地区のリシアンサスが大好きになった。産地の方の想いを受け取り、できるだけ多くの方にヒマワリ、リシアンサスを買っていただけるよう店舗スタッフとして尽力していきたい。」といった声が聞かれました。

最後にリベルテ本社を訪問し、ヒマワリの消費動向等を伺ったところ、「6月は送別会、株主総会等があり、3、12月に次ぎ、売上の高い月。都市部では、「父の日」＝ヒマワリで年々定着しつつある。J A安房のヒマワリは品質が良いため、ヒマワリはJ A安房のものを仕入れている。」とのことでした。産地と販売現場が顔を合わせることで、より良い花づくりと販売につながることが期待されます。



リベルテ大手町でのヒマワリフェアの様子



千葉県野菜品種審査会について

千葉県農林水産部生産振興課
園芸振興室 技師 萩山 鉄也

千葉県野菜品種審査会は、県内の野菜産地に適した優良品種の選定と野菜種子の素質改善を通じ、県産野菜の品質向上と野菜産地の振興を図ることを目的として、昭和27年から開催しており、千葉県、日本種苗協会千葉県支部、公益社団法人千葉県園芸協会で共催しています。

1. 第73回千葉県野菜品種審査会の開催結果

令和7年度は、とうもろこし、キャベツ、にんじんの3品目で実施しました。
延べ21社から総計59点の出品があり、農林水産大臣賞をはじめとする特別賞5点、金賞6点、銀賞6点が決定しました。

第73回千葉県野菜品種審査会入賞品種

賞名	品目	品種名	出品社名
農林水産大臣賞	にんじん	FYC-033	(株)フジイシード
関東農政局長賞	キャベツ	TCC536	(株)渡辺採種場
千葉県知事賞	とうもろこし	SK0-434Y	(株)サカタのタネ
千葉県議会議長賞	キャベツ	MKS-C003	ヴィルモランみかど(株)
一般社団法人日本種苗協会会長賞	にんじん	恋うさぎ	ナント種苗(株)
金賞	とうもろこし	SBS104	雪印種苗(株)
	キャベツ	TC1217	(株)渡辺採種場
	キャベツ	ふうりん	(株)サカタのタネ
	キャベツ	TC7219	(株)渡辺採種場
	にんじん	TCH786	タキイ種苗(株)
	にんじん	紅いぶき 039	住化アグリテック(株)
銀賞	とうもろこし	夏まき味甘ちゃん	(株)武蔵野種苗園
	とうもろこし	ほしつぶコーン	タキイ種苗(株)
	キャベツ	恋唄	(株)トーホク
	キャベツ	YR春楽	(株)日本農林社
	にんじん	FYC-115	(株)フジイシード
	にんじん	ベーター536	(株)サカタのタネ

2. 第74回千葉県野菜品種審査会の開催について

令和8年度は、こまつな、レタス、だいこんの3品目を対象に実施します。審査会の開催場所、開催時期等は以下のとおりです。

第74回千葉県野菜品種審査会開催計画

品目	作型	播種期	収穫期	審査期	ほ場
こまつな	秋冬どり	10月下旬	12月上旬	12月上旬	農林総合研究センター 野菜研究室 (千葉市)
レタス	べたがけ 12月どり	9月下旬	12月中旬	12月中旬	農林総合研究センター 暖地園芸研究所 野菜・花き研究室 (館山市)
だいこん	冬どり	10月上旬	2月	2月	農林総合研究センター 水稲・畑地園芸研究所 東総野菜研究室 (旭市)



近畿圏における千葉県産青果物の販促活動について

千葉県農林水産部生産振興課
首都圏マーケティングセンター 副主査 吉野 雅人

千葉県産青果物の品質及び物量は近畿圏においても高い評価を得ています。昨年度は100を超える近畿圏の量販店で千葉県野菜の販促活動（フェア）が行われました。今後も、販促活動を通じて千葉県産青果物の魅力を発信していきます。

1. 現状

千葉県産青果物の品質及び物量は近畿圏においても高い評価を得ています。昨年度は11月から12月にかけてライフ、万代、平和堂、オーケー、イオン等、合わせて100を超える近畿圏の量販店で千葉県産青果物の販促活動（フェア）が行われました。ねぎ、にんじん、キャベツ、だいこん等、お客様から高い評価をいただきました。

2. なぜ近畿圏で千葉県産が求められるのか？

近年、生産者の高齢化や夏期の高温等により生産環境が厳しくなっています。近畿圏へ青果物を出荷している西日本の産地はこれらの影響が大きい傾向にあることから、質量ともにこれまでの水準を保つことが困難な産地が増えています。そのような中で千葉県産青果物の品質はお客様が安心して手に取れるだけの高水準が保たれており、仲卸や店舗バイヤーからも高い評価をいただいています。中には、かぶやさつまいも等、周年で出荷がなされる品目にもかかわらず、千葉県産をはじめとした関東産が販売棚を占有している品目もありました。



さつまいもは焼き芋も好評でした

3. 遠隔地ならではの課題

フェアは県内を含む関東圏でも行われていますが、遠隔地で実施する場合ならではの課題もあります。例えば、近年は「2024年問題」等、物流面の諸問題が顕在化する中、フェア実施の際には遠隔地への流通ルートの有無、費用対効果が見込めるようトラックの積載率を満たせるだけの物量を扱えるか等が卸売会社、仲卸、産地等に求められます。特に、近畿圏では商品を大量に積み上げることで消費者の目を引き、特売感を強める「ボリューム陳列」が好まれる傾向にあることから、物量を確保することはより重要であると考えられます。



庄巻のボリューム陳列！（万代 八尾曙川店）

4. 最後に

今後もこれらの活動を通じて、千葉県産青果物をより多くの消費者の手に届け、魅力の発信につなげていきます。



6次産業化の相談はサポートセンターへ



千葉県地域資源活用・地域連携サポートセンター
統括企画推進員 富樫 俊彦

千葉県園芸協会は、千葉県地域資源活用・地域連携サポートセンター（千葉県6次産業化サポートセンター）の運営業務を千葉県から受託し、6次産業化等の相談、専門家の派遣、研修会や交流会を行います。

1. 地域資源活用・地域連携サポートセンターって何？

国は、令和4年度からは、6次産業化を発展させて、地域の文化・歴史や森林、景観など農林水産物以外の多様な地域資源も活用し、農林漁業者はもちろん、地元の企業なども含めた多様な主体の参画によって、付加価値を創出していく「地域資源活用価値創出（令和6年度まで『農山漁村発イノベーション』）」としての取組を支援していることから、サポートセンターも、それを表す名称となりました。

2. 相談窓口を開設しています

6次産業化に取り組む農林漁業者の皆様からの相談に加え、農林水産業に関わる多様な地域資源を活用した新たな商品やサービスに取り組む皆様の相談をお受けしています。

最近では、加工施設や機材整備に活用できる補助金や受託加工業者の問い合わせが、多くなっています。

詳しくはこちら⇒



<https://chiba-engei.or.jp/supportcenter.html>

地域資源活用・地域連携サポートセンター
公益社団法人 千葉県園芸協会

3. 専門家（地域プランナー）を派遣します

サポートセンターに登録された専門家（地域プランナー）を、無料で派遣し支援します。

中小企業診断士、食品衛生管理者、ITコーディネーター、HACCPコーディネーター、管理栄養士等の資格を持つプランナーに登録しています。

当サポートセンターで対応できない場合は、(株)パソナ農援隊が運営する中央サポートセンターに登録されているプランナーを派遣します。

なお、専門家の支援は、付加価値額（経常利益＋人件費＋減価償却費）を増加させる経営全体の戦略＝経営改善戦略を作成し実行するために行われます。新商品の製造・販売や、新たな販売方法の導入などの6次産業化等の取組によって、ヒト・モノ・カネがどう動くのか、どの様に改善されるのかを、経営全体でみていくことが重要になるからです。

4. 研修会や交流会を開催します

経営感覚をもって6次産業化等に取り組む人材を育成するための研修会を、毎年開催しています。今年度も、10月から11月に2日間行う予定です。日程が決まりましたら当協会ホームページ等でお知らせします。

農業DX、農福連携、商品開発、衛生管理等、6次産業化を成功に導く有益なヒントが得られる研修会です。

また、農林漁業者等と他の事業者とのマッチング、異業種交流等を目的とした交流会の開催も予定しています。こちらも、日程、内容が決まりましたら当協会ホームページ等でお知らせします。

農地の売買をサポート！「農地売買等事業」の御案内

公益社団法人千葉県園芸協会 農地部

千葉県園芸協会（農地中間管理機構）では、地域の担い手による効率的かつ安定的な農業経営を支援するため、令和8年度から「農地売買等事業」を開始しています。農地の売却又は購入を希望する皆様の取引をサポートします。

◆事業の仕組みとメリット

売り手（農地所有者）と買い手（担い手）の間で合意している取引について、当協会が農地を買い受けた後、担い手に売り渡すことで、次のような支援・優遇措置を利用できる公的な仕組みです。

- ・売り手は「譲渡所得の特別控除」、買い手は「登録免許税や不動産取得税の軽減」といった税制上の優遇措置を受けられる場合があります。
- ・契約書の作成、登記申請などの手続は、協会・市町村等が行うため、皆様の事務負担を軽減できます。

◆主な事業実施要件

- ・対象農地：地域計画[※]策定済みの地域にある農振農用地区域内の農地で、登記簿上の面積が1,000平方メートル以上であること。
- ・買い手：地域計画に位置付けられた認定農業者等の担い手であること。
- ・団地化：買い手が本事業により購入する農地と、現に耕作している農地等を合わせて、おおむね1ヘクタール以上のまとまった農地（団地）を形成すること。
- ・その他：相続登記が完了していない農地、隣接地との境界が確定していない農地等は、対象外となります。

※ 地域計画…地域の農業の将来像について話し合い、農業を担う者ごとに将来の農地利用の姿を明確にした計画。

◆留意点

法務局の登記簿に記載された面積を基準として売買を行いますので、実際の面積（測量面積）が登記簿上の面積と異なる場合でも、売買成立後に代金の増減や精算は行いません（公簿取引）。なお、申請から売買成立までは、5～6か月程度かかります。

◆まずは市町村へ御相談ください

本事業の利用を希望する方は、まず、農地が所在する市町村の農政担当課へ御相談ください。相談内容を確認した上で、市町村と連携し、詳しい事業要件の説明、申請書類の準備、契約手続等を支援します。

募集案内



千葉県立農業大学校 令和9年度 推薦入学の募集について

千葉県立農業大学校

農業経営者、指導者を目指す、皆さんのチャレンジをお待ちしています！

募集人員：農学科：約60名、研究科：約15名

受験資格：農学科

高等学校等を令和9年3月卒業見込の者で、学業成績が特に優秀であり、かつ学校長が推薦する者 **【学校推薦型】**
または、高等学校を卒業した者（令和9年3月卒業見込の者を含む） **【自己推薦型】**

研究科

農業大学校または、短期大学の農業に関する正規の課程を修めて令和9年3月卒業見込の者で、学業成績が特に優秀であり、かつ校長等が推薦する者

試験期日：令和8年10月15日（木）

試験場所：千葉県立農業大学校（東金市家之子1059）

試験内容：農学科・研究科 小論文及び面接 ※自己推薦型は、小論文を願書と共に事前提出

願書受付：令和8年9月11日（金）～9月25日（金）

合格発表：令和8年10月26日（月）

問合せ先（資料請求先）：千葉県立農業大学校 入試係

〒283-0001 東金市家之子1059

TEL：0475-52-5121 FAX：0475-54-0630

ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/index.html>



X



Facebook

※講義や実習、学校行事や寮生活の様子など、千葉農大の全てをお伝えします。